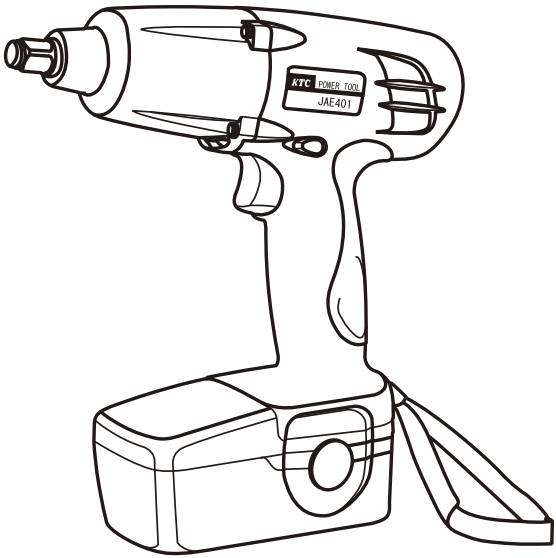
KTC
KYOTO TOOL

12.7sq.ホイールナット専用
コードレスインパクトレンチ
No.JAE401

取扱説明書



この度は、**KTC** コードレスインパクトレンチ（No.JAE401）をお買上げ頂き、誠にありがとうございます。本製品をより安全・適切にお使い頂くためにこの取扱説明書をお読み下さい。取扱説明及び表示の注意事項や使用方法は十分に理解した上で正しくお使い下さい。この取扱説明書はお手元に大切に保管して下さい。

本製品は、主として乗用車のホイールナット締緩作業向け電動コードレスインパクトレンチです。

KYOTO TOOL CO.,LTD

目次

・安全上のご注意 ―――― 1～4
・各部の名称／入組内容 ―――― 5
・充電の方法 ―――― 6～8
・使用方法1（ソケット脱着） ―――― 9
・使用方法2（作業） ―――― 10
・保守・保管方法 ―――― 11
・能力／仕様 ―――― 12
・トラブルシューティング ―――― 13
・補給部品 ―――― 14

安全上のご注意

●ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しくご使用して下さい。
●ここに示した注意事項は、「⚠警告」、「⚠注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を示しています。
●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管して下さい。

⚠警告	誤った取扱いをした場合、死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を表します。
⚠注意	誤った取扱いをした場合、傷害を負う可能性または物的損害のみの発生する可能性が想定される内容を表します。

注意	確認してほしい行為を表します。
⃠	禁止行為を表します。
❗	必ずしてほしい行為を表します。

⚠警告

1．専用の充電器以外使用しないで下さい。

⃠
- 他の充電器で本体を充電しないで下さい。
- この取扱説明書に掲載されている電動工具以外は充電しないで下さい。
  破損して傷害や損傷を及ぼす恐れがあります。

2．正しく充電して下さい。

❗
- この充電器は家庭用100V電源を使用して下さい。
- 使用しない場合は、電源プラグを抜いて下さい。
- 換気の良い場所で充電して下さい。

⃠
- 直流電源やエンジン発電機では使用しないで下さい。
  異常に発熱し火災の恐れがあります。
- 温度が10℃未満、あるいは温度が40℃以上では充電しないで下さい。
  破裂や火災の恐れがあります。
- 雨中や直射日光下では充電しないで下さい。
  感電や発煙または破裂や火災の恐れがあります。
- 本体や充電器を充電中、布などで覆わないで下さい。
  破裂や火災の恐れがあります。

3．ぬれた手で作業しないで下さい。

⃠
- ぬれた手で電動工具や充電器の電源プラグ、バッテリーパックに触れないで下さい。
  感電の恐れがあります。

4．作業場の周囲状況も考慮して下さい。

❗
- 作業場は十分に明るくして下さい。
  暗い場所での作業は事故の恐れがあります。

⃠
- 電動工具、充電器、バッテリーパックは、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないで下さい。
  感電や発煙の恐れがあります。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないで下さい。
  爆発や火災の恐れがあります。

5．保護めがねを使用して下さい。

❗
- 作業時は、保護めがねを使用して下さい。また、粉塵の多い作業では、防塵マスクを併用して下さい。
  切削したものや粉塵が目や鼻に入る恐れがあります。

6．防音保護具を着用して下さい。

❗
- 騒音の大きい作業では耳栓などの防音保護具を必要に応じて併用して下さい。

⚠警告

7．作業対象物を確実に保持して作業して下さい。
・作業するものが固定されていない場合は、必要に応じて二人で作業して下さい。
一人で保持しながら作業するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
固定が不十分な場合は作業するものが飛んでけがの恐れがあります。

8．次の場合は電動工具のトリガースイッチをロックするか、バッテリーパックを取り外して下さい。
・トリガースイッチから指を離して、正逆切替レバーを中央位置にしトリガースイッチをロックして下さい。
・点検や保管などで使用しない、またはソケットなどの先端工具を交換する場合。
・その他危険が予想される場合。
本体が作動してけがの恐れがあります。

9．不意な始動は避けて下さい。
・トリガースイッチに指を掛けて運ばないで下さい。
本体が作動してけがの恐れがあります。

10.本体やバッテリーパックを火中に投入しないで下さい。
内蔵電池が破裂したり有害物質の出る恐れがあります。

11.インパクトレンチは、ソケットやアタッチメントを装着した状態で空回転させないで下さい。
ソケットアタッチメントが飛ぶ危険があります。

⚠注意

1．作業場は、いつもきれいに保って下さい。
・ちらかった場所や作業台は、事故の恐れがあります。

2．子供を近づけないで下さい。
・作業者以外、電動工具や充電器のコードに触れさせないで下さい。
けがの恐れがあります。
・作業者以外、作業場へ近づけないで下さい。
けがの恐れがあります。

3．使用しない場合は、きちんと保管して下さい。
・乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管して下さい。
事故の恐れがあります。

・電動工具を、温度50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内等）に保管しないで下さい。
電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

4．適切に使用して下さい。
・電動工具で安全に能率よく作業するために、能力（適応ボルト）に合った速さで作業して下さい。
能力以上でのご使用は事故の恐れがあります。

・モーターがロックするような無理な使い方はしないで下さい。
高温環境時、高負荷をかけると安全装置が働き回転が一時停止することがあります。
負荷をかけ続けると発煙、発火の恐れがあります。

5．インパクトレンチの不向きな作業に使用しないで下さい。
・指定された用途以外に使用しないで下さい。けがや事故の恐れがあります。
・能力以上の作業には使用しないで下さい。けがや事故の恐れがあります。

6．作業にふさわしくない服等を身につけないで下さい。
・だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、着用しないで下さい。
回転部に巻き込まれる恐れがあります。
・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
すべりやすい手袋や履物は、けがの恐れがあります。
・長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆って下さい。回転部に巻き込まれる恐れがあります。

⚠注意

7．充電器のコードを乱暴に扱わないで下さい。

⃠ ・コードが踏まれたり、引っ張られたり、無理な力を受けて損傷するような扱いをしないで下さい。
感電やショートして発火する恐れがあります。
・コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないで下さい。
・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないで下さい。

8．無理な姿勢で作業をしないで下さい。

⃠ ・常に足元が不安定でバランスの保てない状態で作業しないで下さい。
転倒してけがの恐れがありますので、特に脚立など足場の不安定な場所での作業は注意して下さい。

9．電動工具は注意深く手入れをして下さい。

❗ ・付属品の交換は、取扱説明書に従って下さい。
けがの恐れがあります。
・充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼して下さい。
感電やショートして発火する恐れがあります。
・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換して下さい。
感電やショートして発火する恐れがあります。
・グリップ部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにして下さい。
スリップなどによりけがの恐れがあります。

10．ソケットレンチ等は、必ず取り外して下さい。

❗ ・スイッチを入れる前に、駆動工具類が取り外してあることを確認して下さい。
つけたままでは作業時に飛び出してけがの恐れがあります。

11．屋外使用に合った延長コードを使用して下さい。

❗ ・屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用して下さい。

12．油断しないで十分注意して作業を行って下さい。

❗ ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業をして下さい。
軽率な行動をとると事故やけがの恐れがあります。
・常識を働かせて下さい。
非常識な行動をとると事故やけがの恐れがあります。

⃠ ・疲れている場合は、使用しないで下さい。
事故やけがの恐れがあります。

13．損傷した部品がないか点検して下さい。

❗ ・使用前に各部に亀裂などの異常がないことを十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認して下さい。
・可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の損傷、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認して下さい。
・破損した部品の交換や修理は、お買い求めの販売店に修理を依頼して下さい。

⃠ ・電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり何らかの損傷を受けた充電器は使用しないで下さい。
感電やショートして発火する恐れがあります。
・スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は使用しないで下さい。
異常動作してけがをする恐れがあります。

14．電動工具の修理は、お買い求めの販売店に依頼して下さい。

❗ ・本体が熱くなったり異常に気付いた時は点検修理に出して下さい。
・修理は、必ずお買い求めの販売店にお申し付け下さい。
修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。

⃠ ・サービスマン以外の人は本体、充電器を分解したり、修理、改造は行わないで下さい。
発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
・本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないで下さい。

電動インパクトレンチ安全上のご注意

先に電動工具安全上の注意をのべましたが、電動インパクトレンチとして、さらに次の注意事項を守って下さい。

⚠警告

●作業する箇所に、可燃性の強い液体（ガソリン、シンナー、ベンジン等）やガスが充満した状態で使用したり、充電をしないで下さい。
爆発や火災の恐れがあり、けがの原因になります。

●使用中は振り回さないよう本体を確実に保持して下さい。
確実に保持していないと、けがの原因になります。

●落下させないで下さい、本体落下防止のためストラップに手を通してご使用下さい。また、高所作業の時は下に人がいないことをよく確かめて下さい。
材料や本体などを落としたときなど、けがや事故の原因になります。

●使用中は回転している先端工具や駆動部分に触れないようにし、顔などを近づけないで下さい。
けがの恐れがあります。

●連続作業の時は、1パック使用後本体を冷ましてから使用して下さい。
本体が温度上昇し、低温やけどする恐れがあります。

●密閉された狭い場所で使用しないで下さい。
発煙、発火、破裂などの恐れがあります。

⚠注意

●先端工具類（ソケットなど）や付属品は取扱説明書に従って確実に取り付けて下さい。
確実でないとはずれたりし、けがの原因になります。

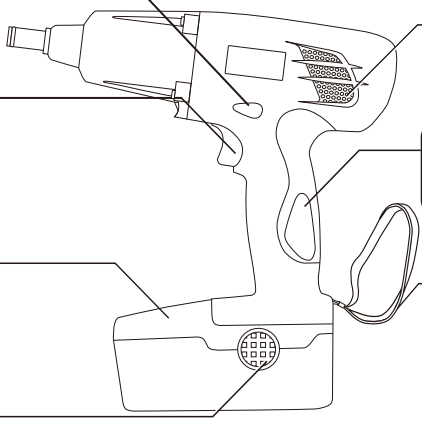
●使用中は軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないで下さい。
回転部に巻き込まれ、けがの恐れがあります。

●作業直後の先端工具類（ソケットなど）、ボルトナット、電池端子は高温になっているので触れないで下さい。
やけどの恐れがあります。

●先端にドリルをつけて金属の穴あけには使用しないで下さい。
ドリルの刃が折れて、けがをする恐れがあります。

●本体側面の風穴から出る温風が直接肌に当たらないように使用して下さい。
風が当たるとやけどの恐れがあります。

各部の名称



正逆切替レバー
右回転、ロック、左回転の切替レバー

トリガースイッチ
押すと無段階変速回転はなすとブレーキによってストップ

バッテリーパック
電圧19.2V、2.0Ahのニカドバッテリー

バッテリーパックストッパーボタン
両側のボタンを押して本体とバッテリーを切りはなす。

風穴
冷却ファン付モーターの放熱用窓

ソフトグリップ
手に伝わる振動とスリップを防止

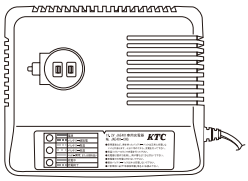
ストラップ
本体の落下防止に手を通して使用

【本体前面】

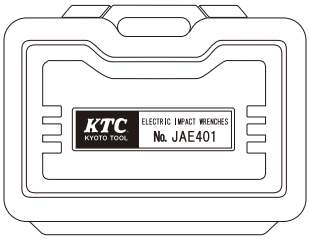
入組内容

標準付属品

■充電器

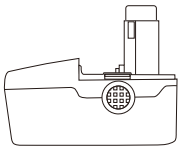


■キャリングケース



■バッテリーパック
キャップ

■スペアバッテリー



充電の方法

1．充電作業の注意事項

以下の事項は非常に重要です。必ずお読みの上、正しくご使用下さい。

⚠警告

- ・周囲温度10℃～40℃の範囲内で充電を行って下さい。
- ・バッテリーパックが確実に取り付けられた事を十分に確認してからご使用下さい。
  バッテリーパックの取り付けが確実にされていないと作業中にバッテリーパックが落下して、重大な事故を引き起こす原因となります。

⃠
- ・家庭用電源100V以外は使用しないで下さい。
  発電器や直流電源での充電は絶対にしないで下さい。
- ・雨中での充電はしないで下さい。感電や、故障の原因になります。
  直射日光下での充電は絶対にしないで下さい。
- ・適合バッテリーパック以外は充電しないで下さい。

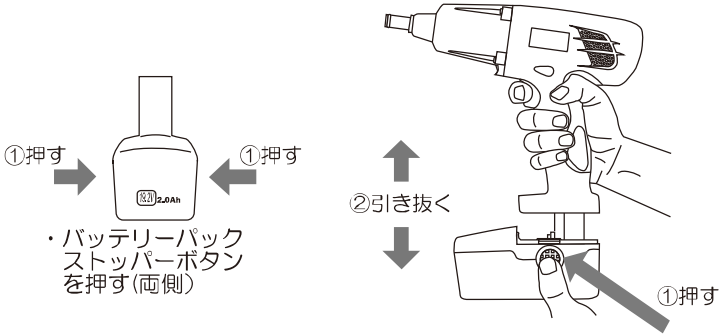
⚠注意

- ・2個パック以上の連続充電を行う際は、15分以上の間隔をおいて充電を行って下さい。
- ・充電作業が終わったら、電源プラグはコンセントから抜いて下さい。
- ・赤ランプが点滅するだけの場合は、電池電圧回復のために穏やかに充電していますので、このままでお待ち下さい。30分以上待っても赤および緑ランプが点灯しない場合はバッテリーパックの故障です。バッテリーパックを交換して下さい。
- ・赤ランプが点滅し、黄ランプが連続点灯する場合は、電池電圧回復が遅れています。5分後に一度バッテリーパックを抜き差ししてみて下さい。何回繰り返しても同じ場合は、バッテリーパックの故障です。
- ・新しいバッテリーパックや長時間未使用の状態のバッテリーパックは100%充電しないことがあります。その場合は、約5回前後の充放電を繰り返すことで、バッテリーの能力が回復します。
- ・充電が終わって電源プラグをコンセントから抜いてもバッテリーパックを充電器にセットしたままにすると、満充電でも約1週間でバッテリーが上がってしまいます。充電が終わったらバッテリーパックを充電器から抜いて下さい。
- ・電池温度が異常（0℃以下または70℃以上）な場合は、黄色ランプが連続点灯して異常を示します。そのままでは電池温度が適正になっても充電を開始しません。一度、バッテリーパックを充電器から抜いて正常温度にしてからやり直して下さい。

⃠
- ・電池容量がまだ十分残っているバッテリーパックを充電しないで下さい。継ぎ足しの充電は、電池容量の低下を招きます。
- ・バッテリーパックを火中に投入しないで下さい。
- ・バッテリーパックの端子間をショートさせないで下さい。道具箱などへバッテリーパックを裸で入れますと、釘やペンチといった道具に触れて、ショート・発煙・発火などを起こす恐れがあります。移動や保管の際は、バッテリーパックキャップをするか絶縁テープを巻くなどして保護して下さい。
- ・車中や直射日光下などの高温下の状況にバッテリーパックを放置しないで下さい。発煙・発火などの恐れがあります。
- ・バッテリーパックを水に濡らさないで下さい。
- ・ボルト・ナットの締め緩め等の作業が行えなくなりましたら、再充電の時期です。それ以上の放電は絶対にしないで下さい。正常に充電しないばかりか、発煙・発火の恐れがあります。
- ・この充電器は、電池温度が適正になると自動的に充電を開始しますが、できるだけ使用直後等の熱を持ったバッテリーパックは、充電しないで下さい。正常に充電しないことがあります。十分に冷ました後、充電を行って下さい。

2．バッテリーパックの取り外し

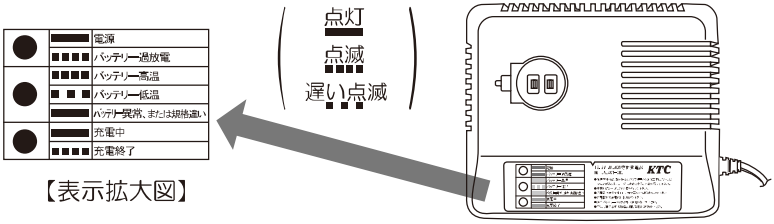
●片手で本体のグリップ部を握り、もう片方でバッテリーパックのストッパーボタンを指で押しながら引き抜いて下さい。



3．バッテリーパックの取り付け

●本体バッテリー取り付け口の凹とバッテリーパック上部の凸を合わせて、そのままゆっくりとバッテリーパックを差し込んで取り付けて下さい。
●「カチッ」というロック音がするまで確実に取り付けて下さい。

4．充電器のランプ表示について



【表示拡大図】

ランプ表示		充電器・バッテリーパックの状態	
赤	▬	電源	充電器の電源が入っています。
	▬▪▪▪	バッテリー過放電	長期保管などによって、電池電圧が低下しています。 下記の注意欄をお読み下さい。
黄	▬▪▬▪	バッテリー高温	バッテリーが熱くなっています。そのままバッテリーが冷めるのを待つか、 一度バッテリーパックを充電器から抜いて、バッテリーパックを冷まして下さい。
	▬▪▪	バッテリー低温	バッテリーパックが冷たくなっています。そのままバッテリーが温まるのを待つか、 一度バッテリーパックを充電器から抜いて、バッテリーパックを十分に温めて下さい。 バッテリーパックが10℃前後になるまでお待ち下さい。
	▬	バッテリー異常、 または規格違い	バッテリーパック温度が異常です。(0℃以下または70℃以上）バッテリーパックを充電器から抜いて、正常温度にして下さい。 または、適合品と異なるバッテリーパックか、バッテリーパックの故障です。 正しいバッテリーパックと交換して下さい。
緑	▬	充電中	正常に充電しています。
	▬▬	充電終了	充電が終わりました。バッテリーパックを充電器から抜いて、充電器の電源プラグを コンセントから抜いて下さい。

5．充電方法

注意　本機の充電時間は約50分（周辺温度20℃）に設定されています。ただし、バッテリーパックの温度や周辺の気温によって多少異なります

①充電器の電源プラグをコンセントに差し込み、充電器本体の、赤色ランプが点灯することを確認します。（図１）
②バッテリーパック上部の凸と充電器の凹の形を合わせて、バッテリーパックを充電器へセットします。（図２）
③充電器本体の緑色ランプが点灯することを確認します。（図２）
④充電が終わると、緑色ランプが点滅します。

図１

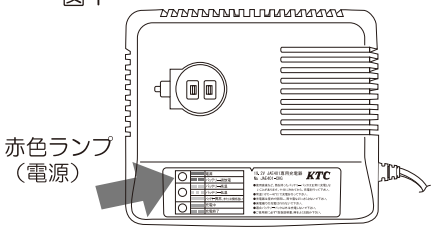
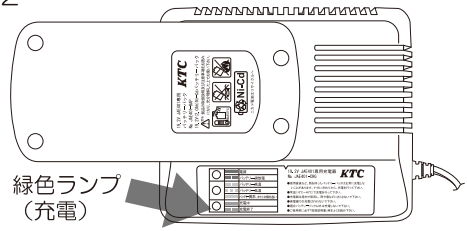


図２



バッテリーパックについて

⚠警告

⃠　・バッテリーパックを火の中に投入しないで下さい。
破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。

■バッテリーパック（ニカドバッテリー）を長持ちさせるコツとして
完全にカラになる前に充電し、保管前にフル充電しておきます。

■バッテリーパックの寿命について
①寿命の目安：フル充電しても、初期の半分程度の作業しかできない。
②処置：新しいバッテリーパックをお買い求め下さい。
※1週間に2回充電したとして約3年（充放電回数300回）ですが、使用条件により変わります。
※バッテリーパックを充電しないまま半年以上放置すると蓄電池が自己放電し能力が低下する場合がありますので、少なくとも半年に1回は充電して下さい。
③ニカドバッテリーのリサイクルについて
この製品には、ニカドバッテリーを使用しています。ニカドバッテリーは、リサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの電池パックの廃却に際しては、そのままお買い求めの販売店へお返し下さい。（バッテリーパックは短絡防止のため、必ずバッテリーパックキャップを付けるか端子部に絶縁テープを貼って下さい。）
④本製品の使用電池
名称：密閉型ニカド蓄電池
公称電圧：1.2V/個
数量：16個

Ni-Cd
ニカド電池はリサイクルへ

使用方法１（ソケットの脱着について）

注意　ご使用に際し、各都道府県の条例で定める工場または事務所でご使用になる場合には、周囲に迷惑をかけないよう各条例で定める遮音規制値以下であることが必要です。必要に応じて、遮音壁を設けて下さい。

⚠警告

・先端工具や付属品の取り付け、取り外しの際は、必ず正逆切替レバーをロックにし、バッテリーパックを本体から抜いて下さい。
急に動き出し事故の恐れがあります。

⚠注意

・インパクトレンチ用ソケットとインパクトレンチ用駆動工具を使用して下さい。
・作業中は安全のため、保護めがね、耳栓、安全帽、防塵マスク、安全靴などを着用して下さい。
・使用前、回転方向を確認して下さい。
・作業前にソケットが正しく取り付いていることを確認して下さい。

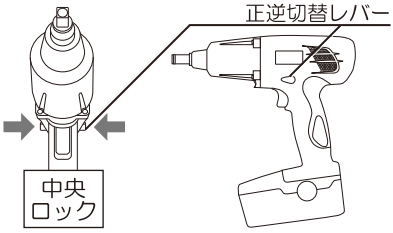
・インパクトレンチを回転させながらボルトやナットにあてがわないで下さい。
・アタッチメント類を2個以上連結しないで下さい。
・ソケットやアタッチメントを装着した状態での空回転はしないで下さい。
・作業中は危険ですのでソケットに触れないで下さい。

１．先端工具を選ぶ

用　途	先端工具
ボルト・ナット の締め・緩め	●インパクトレンチ用ソケット・駆動工具類 差込角12.7sq.(1/2インチ）をご使用下さい。

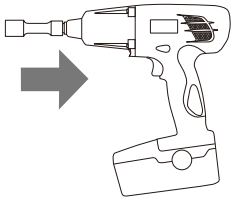
２．正逆切替スイッチをロックにする

●正逆切替レバーを中央で止める。



３．インパクト用ソケット（市販品・以下ソケット）を取り付ける

●ソケットを本体に確実に差し込む。



使用方法２（ボルト･ナットの締め緩め作業について）

バッテリーパックを取り付け、正逆切替レバーで正/逆転を決めてスイッチを入れる。

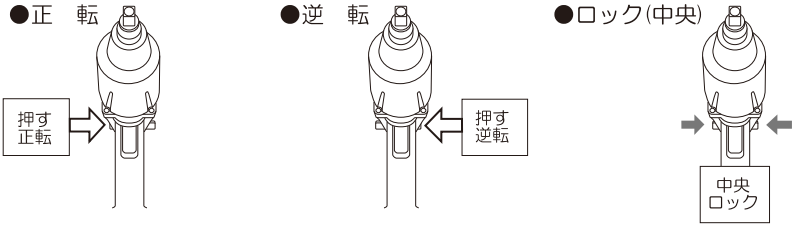
⚠警告

❗ ・本体側面の風穴から出る温風が直接肌に当たらないように注意して下さい。
風が当たるとやけどの恐れがあります。
・使用中は振り回されないよう、本体を確実に保持して下さい。
確実に保持していないと、けがの恐れがあります。
・本体落下防止のため、ストラップに手を通してお使い下さい。また、高所作業の時は下に人がいないことをよく確かめて下さい。材料や本体などを落とした時など、事故の恐れがあります。

⚠注意

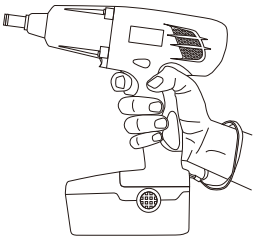
⃠ ・作業直後の先端工具類（ソケットなど）、ボルトナット、電池端子は高温になっているので触れないで下さい。
やけどの恐れがあります。
・先端にドリルをつけて金属の穴あけには使用しないで下さい。
ドリルの刃が折れて、けがをする恐れがあります。

１．正逆転切替レバーで正／逆転を決める



２．スイッチを入れる

●スイッチを押し込むに従って回転数が上がる。
（ボルト・ナット取付時は、ゆっくりスタートする）
●スイッチをはなす（スイッチ切）とブレーキが作動。

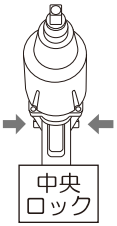


注意 ●作業時は右図の様にストラップに手を通して下さい。
●本体が熱くなったら作業を中断し、冷ましてからお使い下さい。
●使用時に本体側面の風穴をふさがないで下さい。
風穴をふさいで使用すると、本体機能を損ない故障の原因となります。
●正逆切替レバーの操作はモーターが停止してから行って下さい。
完全に停止しない状態での切替操作は故障の原因となります。

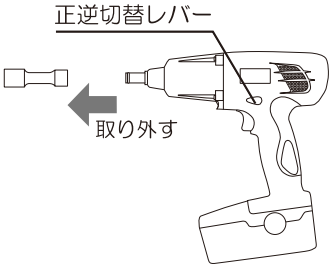
保守・保管方法

使い終わったら元の状態に戻す

1．正逆切替レバーをロック（中央）
位置にする。



2．先端工具を取り外す。

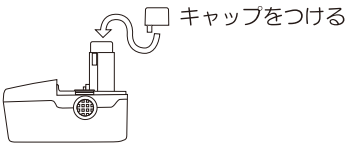


3．キャリングケースに保管する。

お手入れ・保管

1．バッテリーパックは充電してから保管する。
●充電してから保管すると充電サイクルが長くお使いいただけます。

2．バッテリーパックはキャップをつけて保管する。
●単品で保管時は、短絡を防ぐため付属のバッテリーパックキャップをつけて下さい。



3．やわらかい布でふく。
●濡れた布や、シンナー、ベンジンなど揮発性のものは使用しないで下さい。
変色・変形する原因になります。

4．定期点検の実施をする。
●定期的に点検・清掃をし、6ヶ月に1度は充電して下さい。

5．適切な場所で保管する。
●湿気やほこりの多い場所、直射日光下や高温の車の中に保管しないで下さい。
故障の原因になります。

能力／仕様

【本体】

方式	コードレス充電式電動インパクトレンチ
モーター電圧	DC:19.2V（直流モーター）
能力ボルト	自動車用ホイールナット用　M10～M14 （六角ボルト　M6～M16=10mm～24mm）
最大締付トルク	300N·m 気温20℃満充電時
無負荷回転数	0～2500(回転/分)
四角ドライブ寸法	12.7sq.
寸法	長さ255ｘ幅66ｘ高さ265(mm) バッテリーパック最大幅81mm
重量	1.95kg（本体） 2.95kg(電池含む) 6.20kg（ケース1.7kg含む総重量）

【充電器】

充電時間	約50分
入力電圧	単相交流50/60Hz共用　電圧100V
表示	電源、充電、異常の各表示ランプ付
重量	0.55kg
寸法	長さ255ｘ幅66ｘ高さ265(mm)
対応バッテリー	JAE401-BAP用　専用充電器

【バッテリーパック】

充電池	円筒型密閉　ニカドバッテリー
電池電圧、容量	19.2V　2.0Ah(2000mAh)
重量	1.0kg
充電器	JAE401-CHG　専用充電器にて充電

締付トルクに影響する要因

注意　トルク制御できませんので、規定トルクが必要な場合はトルクレンチにて締めて下さい。

1．締付時間
　時間を長くすると締付トルクも増加します。ただし、あまり長時間締めてもある値以上は増加しません。また、ボルトが折れることがありますのでご注意下さい。
2．ボルトの径が異なる場合
　径が変わると締付トルクも変わります。一般には大きなボルト径ほど高くなります。
3．締付状態により
　・同じボルトでも、トルク係数（ボルトの仕上がり状態により決まる係数、ボルトメーカーで表示）、等級、長さによって締付トルクは変化します。
　・締付物（鉄骨等）の座面仕上がり、締付物同士の状態によっても変化します。
　・ボルトとナットが供回りすると大幅にトルクは低下します。
4．ソケットのガタ
　・ソケットの六角部が摩耗してガタが大きくなるとトルクは低下します。
　・ボルトに合ったサイズのソケットを使用しないとトルクは低下します。
5．スイッチ（スピードコントロールスイッチ）
　引き込みきらない状態（フルパワーでない状態）で使用するとトルクは低下します。
6．接続アダプタの影響
　ユニバーサルジョイントやソケットアダプタを介して使用するとトルクは低下する場合があります。

トラブルシューティング

故障かな？と思ったとき
修理を依頼される前に下記の点検をお願いします。

【充電時】

症状	考えられる原因	処置
充電器をコンセントに差し込んでも赤い電源ランプが点灯しない。	AC100V以外のコンセントを使用している。	AC100Vのコンセントを使用して下さい。
バッテリーを差し込んでも赤い電源ランプが点滅したままである。	電池電圧が低下している。	しばらくそのままで充電を続け下さい。 (30分以上待っても赤および緑ランプが点灯しない場合はバッテリーパックの故障です。)

【作業時】

トリガースイッチを押しても動かない。	・正逆切替レバーがロック位置になっている。	・正逆転切替レバーを正/逆転に切り替えて下さい。
	・バッテリーパックが充電されていない。	・常温環境で充電して下さい。（自己放電するため、半年に1回は充電して下さい。）
	・バッテリーパックと本体の接点部にゴミ等が付着している。	・ゴミ等を取り除いて、「カチッ」と音がするまで差し込んで下さい。
フル充電しても作業本数が少ない。	バッテリーパックの寿命。	新しいバッテリーパックをお買い求め下さい。（JAE401-BAP)

※充電器やバッテリーパックに関しては、P6～を参照して下さい。

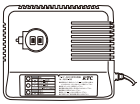
上記の点検をしても、なお異常がある場合は・・・

直ちに使用中止して、お買い上げの販売店にお持ち下さい。

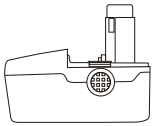
補給部品

・補給部品（有償部品）として、以下の部品を設定しています。

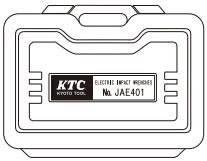
●充電器
・JAE401-CHG



●バッテリーパック
JAE401-BAP



●キャリングケース
・JAE401-CAS



推奨工具(別売り)

●12.7sq.インパクトレンチ用ホイールナットソケット(ロング薄肉)
（ロング薄肉）
・BP48-22（22mm）
・BP48-21（21mm）
・BP48-19（19mm）
・BP48-17（17mm）

メモ

メモ

メモ

製造国：台湾　製造業者の名称・所在地　京都機械工具株式会社　〒613-0034 京都府久世郡久御山町佐山新開地128番地

本製品の問い合わせは、お客様窓口又は下記支店・営業所までお寄せ下さい。

お客様窓口（ものづくり／お客様センター）
TEL／0774－46－4159
FAX／0774－46－4359
Email:support@kyototool.co.jp
URL http://www.kyototool.co.jp/

支　店　TEL／東京　03（3752）2261／名古屋　052（882）6671／近畿　0774（46）3711
営業所　TEL／札幌　011（824）0765／仙　台　022（231）6322／金沢　076（291）4546
／広島　082（273）0202／四　国　087（869）4474／福岡　092（441）5637

※　仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

No.T56022-0.05.08.KTC